

From 投稿コーナー

投稿コーナーに寄せられたみなさんの意見・感想を大公開！「同じこと考えている」とか、「まったく違うなあ」とか、いろいろな世界が見えてくるかも！？

■推理小説■

・「名探偵夢水清志郎事件ノート」シリーズ（はやみねかおる）
・赤川次郎の作品
・江戸川乱歩の作品
「夢水清志郎事件ノート」シリーズは人気があります。赤川次郎、江戸川乱歩は作品数が多いので、じっくり制覇できそうです。

自由投稿から



オススメの本

投稿してくれた
みなさん
ありがとう
ございました♪

■ライトノベル■

・『キノの旅』（時雨沢恵一）
・『涼宮ハルヒ』シリーズ（谷川流）

ライトノベルはどの作品もよく読まれています。上記二作品は特に根強い人気があります。

■その他の作品■

・『D・ヴィンチ・コード』（ダン・ブラウン）
・『インストール』（綿矢りさ）

旬の作品はみなさん欠かさずチェックしています♪

■ファンタジー作品■

・『ダレン・シャン』（Darren Shan）
・「ナルニア国物語」シリーズ（C. S. ルイス）
・「ゲド戦記」シリーズ（ルネグウィン）
・『精霊の守り人』（上橋菜穂子）
・『彩雲国物語』（雪乃紗衣）
・「テレパシー少女「蘭」事件ノート」シリーズ（あさのあつこ）

ファンタジー作品はロングセラーから、最近のものまで、穴山の投稿が集まりました！（日常生活では体験できない事が描かれているためでしょうか？）内容も西洋ファンタジーから東洋ファンタジーまで…、と幅広いです。

■（図書館には無いけど）マンガ■

・『桜蘭高校ホスト部』（葉鳥ビスコ）
・『XXXHOLIC』、『ツバサ』（CLAMP）
・『NARUTO』（岸本斉史）

マンガは話も絵柄も派手な展開が人気の要因でしょうか？アニメ化もされました。

お知らせ

図書館ボランティア募集中！

習志野市立図書館では、図書館ボランティアを募集しています！

YA世代は、勉強・部活・友達つきあいと多忙だと思います。…でももし図書館が好きで、図書館の仕事に興味がある人はチャンスですよ！普段は足を運ばない書架を（整理しつつ）眺めていると新しい本との出会いがあるかも？！登録は活動希望の各図書館に直接お問い合わせください。（中学生は保護者の同意が必要です）



水色の空に、桜の桃色がとてもきれいな季節。楽しい春をお過ごしください。
（口）



新生活を迎えるみなさんに、華やか（みっちゃん）



（桃）

仕事をしている季節の変わり目を感じなくなるので、この時期は学生時代が懐かしいです。



ティーンズレター。第五号はいかがでしたか？次回、夏頃にお会いしましょう！
（桃）

編集後記



2007年7月
ヤングアダルト通信
vol.6

習志野市立大久保図書館

習志野市本大久保 3-8-19

TEL 047-475-3213

<http://www.city.narashino.chiba.jp/~okb-lib/>



読者のみなさんへ…本は読むだけでなく、楽しむことも大切です。

誌面リニューアル！
新コーナーははじめました。

ティーンズコーナー BOOK NABI

“すずし〜い”本



1. 爽やかさ100%!夏のスポーツで涼しく

水泳やサーフィンなど、夏が本番と言えるスポーツはたくさんあるよね。そんなスポーツをテーマにした小説がこちら。読めば身も心も爽快になるよ!

『ダイブ!! 上・下』 森 絵都/著 角川書店

弱小ダイビングクラブに所属する知季らは、クラブ存続のため、なんとオリンピック出場を目指すことに。そんなムチャな思いつつも…。高さ10mの飛び込み台から時速60キロでダイブし、わずか1、4秒で全てを表現する。飛び込みは瞬間の競技です。彼ら3人は、その一瞬が思いのほか好きだったことに気づきます。熱いけどそれが心地よく感じられますよ!

『キャッチ ア ウェーブ』 豊田 和真/著 角川学芸出版

夏休みに友達と湘南へ来た大洋は、初めて見たサーフィンに心を奪われてしまう。そしてひょんなことから、デューク川原と名乗る妙な男性と知り合い、サーフィンを教えてもらうことに…。16歳の高校生が書いて映画にもなった青春小説です。サーフィンのことを全く知らなくても、波にのってみたいくなっちゃいます!



2. 涼しげな文章や写真で、目から涼しく

風鈴やガラス細工など、音や色で涼しい気分になれるものってありますよね。今年の夏は、こんな本たちを読んで涼んでみてはいかが?

『サマータイム』 佐藤 多佳子/著 新潮社

ぼくは今ピアノを弾いている。きっかけは小学5年生の時に会った広一が弾いてくれたサマー・タイムの曲。夏休みの出会いと友情や恋が、雷雨前のグレーの雲・真っ赤なサンドレス・ブルーとグリーンゼリーの（海の味!）といった色鮮やかな小物で彩られたお話です。

『朝の少女』 マイケル・ドリス/著 新潮社

南の島に住む少女は、早起きが大好きでいつも何かを夢みている。少女の弟は夜を愛し、時には夜そのものにとけ込んで見えなくなってしまふ。全く違う世界を見ている姉と弟は、豊かな自然や優しい両親に囲まれて、少しずつ大人になって行きます。最後には衝撃の結末が…。

『オーロラの彼方へ (Michio's northern dreams 1)』 星野 道夫/著 PHP 研究所

厳しい冬があるからこそ春の訪れが待ち遠しく、太陽がほとんど沈まない夏の白夜が嬉しい…そんなアラスカの自然美・そこに生きる動物たちの写真の涼しげなこと!そして、星野さんの自然に向き合う中で育まれた、感性豊かな文章はまるで詩のように心に響いてきます。

3. ソワソワくそく…ホラーな本で一気に涼しく

怖い、けど、読みたい…。みんなに大人気の怖い本はやっぱり夏に読むのが一番!読めば体温も一気に急降下、てっとり早く涼しくなりますよ。

『夏と花火と私の死体』 乙一/著 集英社

9歳の夏、わたしは死んだ。無邪気な殺人者によって。幼い兄妹は、わたしの死体をこっそりどこかに隠すことにしたようだ。死んだわたしが語る、4日間の悪夢の日々。兄妹におそいかかる危機に、ドキドキしながら次のページをめくりました。読了後、体温が1、2度下がっていきそうな作品です。なんと乙一さんのデビュー作!



『子供に語ってみたい日本の古典怪談』 野火 迅/著 草思社

怖い話は、昔から人々に人気がありました。この本には、古くは奈良時代から伝えられてきた、恐ろしく、怪しげな怪談がたっぷり入っています。タイトルが有名な「耳なし芳一」や「雪女」。奇想天外な「板に押し殺された侍」「亀に唇を食われた男」などなど。生々しい描写が本当にコワ〜いので、寝る前にはけっして読まないように!

4. 涼しげワードを入れて、本のタイトルを完成させよう!

ヒントを元に、???に当てはまる言葉をあててね♪ (答えは My Favorite の下にあります。)

『ガールズ・????』 あさの あつこ/著 文芸春秋

理穂は失恋した次の日、17歳になった。私たちは、失恋しても、社会の偏見の目にさらされても、今生きているこの時間がたまらなく愛しいのだ…。高校生の揺れ動く感情を丁寧にすくい取った一冊です。

ヒント: 空や海の色。落ち込んだ時、「????になる」なんて言い方もします。



my favorite

talk 1: Book design

最近、本屋に行く、読みたい本があつという間に見つかってしまいます。そこで、じっくり中身を検討することになり、結果、足に根がはえる。困ったことに、最近好みの装丁の本が多いのです。(泣)

装丁とは、本全体のデザインのことをいいます。装丁家は、その本のコンセプトを元に、カバー、見返し、扉に始まり、帯、本文のレイアウトまで担当することも。彼らの名は、実際に本を手にとり、ページをめくってみないとわからない情報の一つですね。

私の初めてのジャケ買い本(ジャケットには目して思わず買った本)は、伊坂幸太郎氏の「重力ピエロ」。表紙には工芸家である三谷龍二氏の写真が使用されています。うす暗い部屋の窓辺に、小さな男の想像、よくよく見ると、それは鏡の中の風景で、変わった写真でした。小説のイメージとぴったりであったのが、読み進めている間も、私の頭の中には曇り空のぼんやりとした暗さがあったのです。今でもカバーごと大事にしている本です。

*好きなモノを好きなだけ語る新コーナー。最近ちょっとなしみに思っている「装丁」について、ピロが語らせていただきます!

